

## 卒業生からの意見聴取及びその対応 [令和3年度]

1. 日 時：令和3年12月2日（木）12:45～13:25
2. 意見聴取者：1992年3月卒、2004年3月卒、2007年3月卒、2010年3月卒、2011年3月卒、2020年卒 計6名
3. 場 所：愛知工科大学自動車短期大学1号館(キャリアセンター会議室)
4. 卒業生への質問項目

- ①皆さんが本学に入学してきっかけは何ですか。
- ②在学中に受けた教育内容やサービス等についてよかった点や現在の仕事に活かされている点は何ですか。
- ③この仕事に就いて、一番良かったことは何ですか。
- ④いずれの会社も時代とともに変貌を遂げていますが、入社当時とどのように変わっていますか。
- ⑤実社会の経験から、母校の教育についてどんな知識や技術、人間教育などをしておくべきか教えてください。
- ⑥その他、お気付きのことなど。

### 5. 聴取した意見

#### ①について

- ・自宅から近く、設備が整っている
- ・自動車整備士資格を取得したかった
- ・バイクに興味があり、自動車のメカ的なことがやりたかった
- ・父親の出身校であったため
- ・先輩が卒業した学校だったため
- ・整備士として確実な技術が身に付けられるものが整っていること

#### ②について

- ・技術的な面だけでなく、知識の面でも色々役立っている
- ・基本的な車両構造を理解していたため、メーカーの研修時に理解が早かった
- ・実習(特にエンジン、電装)が役に立っている

#### ③について

- ・色々な業種の方々と交流ができること
- ・手に職を持たせたこと
- ・自分のクルマを整備できること
- ・お客様に直接感謝されていること

- ・好きな物事を仕事にしていること

#### ④について

- ・車の性能だけでなく、働き方など様々な面で大きく変化している
- ・HVやEVの知識、診断機を使用しての修理の増加
- ・整備だけをする時代ではなく、接客も重要な仕事になっている
- ・残業の削減、有給休暇取得の促進
- ・安全面に対する強化
- ・車両の電動化・制御の細分化
- ・研修や診断技術のネット、オンライン化

#### ⑤について

- ・色々な交流を図り、雑学等も学んで欲しい
- ・お客様対応や対人教育
- ・パソコンは必須、できないと苦勞する
- ・実習ではより多く工具を触り、実物に触れることが大切
- ・基本整備を徹底的にできるようにする
- ・積極的な姿勢を鍛えてください

#### ⑥について

- ・ソフトウェアの不具合が多くなってきていると感じる
- ・正規ディーラー以外の企業は今後厳しくなると思う

### 6. 意見に対する本学の対応

- 1) 技術習得や学生生活が充実するよう今後もキャンパス整備に心掛けて参ります。
- 2) 時代の趨勢に合わせて提供する教育カリキュラムを見直し、卒業生が自信をもって社会に巣立てるように指導に努めます。※電動化に伴うEV車両の増強
- 3) 整備作業における安全作業の基本を徹底し、安全・確実な整備実習を提供します。
- 4) 自動車整備士の社会的使命の重要性をしっかりと指導して参ります。
- 5) 自動車整備士資格の高い取得率を維持できるよう努めます。

以上